

— 會 務 報 告 —

○第3回理事並常議員會記錄

日 時 康徳11年3月25日

場 所 新京滿鐵白菊厚生會館

出席者 本間會長、鈴木、坂上副會長、照井理事、浮洲
内田常議員、濱主事

協議事項

1. 役員選舉投票の票及當選者決定の件

下記の通り當選者決定す

- 理事會長 169票 當選 鈴木 長明君
- 理事副會長 155票 當選 宇 木 甫君
- 常 議 員 170票 當選 伊地知彌彦君
- 〃 169票 〃 青木 信夫君
- 〃 169票 〃 石井 鉄三君
- 〃 169票 〃 吉村富之助君
- 〃 168票 〃 高野 宗久君
- 〃 166票 〃 山田 武治君
- 〃 165票 〃 豊島 棟建君
- 2票 次選 米田 正文君
- 2票 〃 深井 浩三君
- 1票 次選 關戸 政敏君

2. 康徳9.10年度土木滿洲鐵道學論文受賞者決定の件

照片審査委員長より審査経過及結果報告あり左の通り決定第4回通常總會に於て賞金を授與することす。

康徳9年度 自第3巻第1號 第6號 掲載分 當選者

1等 1名 賞金 10圓也

題名 滿洲國河川に對する平均流速公式

准會員 永井莊七郎君

2等 2名 賞金 各5圓

2等 1席

題名 工業用水の水費及廢水に就いて

正會員 相原 龜君

2等 2席

題名 氷に關する文獻

正會員 久保 鏡光君

康徳10年度 自第3巻第1號 第6號 掲載分

1等當選者なし

2等 2名 賞金 各50圓也

2等 1席

題名 地盤の凍結と對策の研究

正會員 中武 鐵君

2等 2席

題名 航空港の建設

正會員 廣谷 仁安君

3. 通常總會並に記念特別講演會に關する件

濱主事より第4回通常總會に於て報告すべき康徳10年度中實施せる事業並に會計決算報告内容の説明あり原案通り承認せり

4. 康徳10年度土木講習會開催結果報告

濱主事より講師招聘及聽講者數見學會後援其他會計上に關する狀況等を報告せり

5. 書記長交代に關する件

照井理事兼書記長今般牡丹江土木工程局長に轉出の爲後任書記長に交通部理水司理木工務科長佐藤清見君を委屬するに決定を看たり。尙照井副理事長に對し記念品贈呈の件承認す

6. 會員移動承認の件

新入會員今庭雄一君外14名其他移動を承認す

第4回通常總會並に記念講演會記者

○通常總會記錄

日 時……康徳11年3月25日

場 所……新京滿鐵白菊厚生會館

出席者 76名

報告事項及議事

1. 康徳10年度事業報告

2. 康徳10年度決算報告

1. 特定期間中入會金免除に關する件

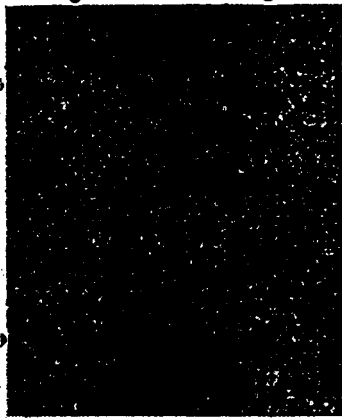
2. 役員選舉の結果報告

1. 優秀論文賞金授與



本間會長挨拶

13時30分賓主席別會を宣し祝儀禮を終り本間會長の閉會挨拶あり本間會長議長席に着き議場に入る、先づ照



鈴木新會長の挨拶



照井理事の報告

井理事兼書記長より事業報告あり賓主より會計決算報告、續いて入會金免除に関する件提案及理由の説明をなし原案通り決議す又照井理事より役員選挙の結果を報告鈴木

新會長高選所役員

を代表一場の挨拶をなす次に優秀論文賞選に對する賞金を代表者に授與し第4回通常總會を終了せり。

△事業報告

大野總務部長永らく病氣の爲出席不能の爲……私から康徳十年度中に於ける事業實施情勢其他の事項に就いて漢況御説明申上ます。

先呈差上げて置きました御

手元の事業報告を御覽願ひまして其の御子により前々精しく報告致したいと思ひます。

第1の會議から申上ますと第3回臨時總會を3月26日に新京記念公會堂に於きまして閉會し會務の圓滑なる運営を期したい目的から定款並に規則の変更に関する件を審議し閉會時期及役員選挙期日の變更決議をなし之に伴ふ附帶決議として10年度に限り役員選挙を行はざること等を決議したのであります。

次は第4回通常總會であります之は3月27日今日同僚滿藏白菊厚生會館に於て開催しまして康徳9年度事業及決算報告をし又坂田會長辭任による會長、副會長、並に常議員の選挙を行はずして銜補充の決議をしました、尙康徳8年度中に於ける土木滿洲協會優秀論文の當選者3名に對し賞金の授與を行ひました。

次に役員會でありますが本會は都合上理事會、常議員會は之を別々に隔かず即ち理事並に常議員會合同役員會として會務運営上の最高審議機關として居ります、此の役員會は毎月一回開催することし開催地は役員在住地の關係上奉天市、新京市交互に開催するを建前と致して居りますが、特別の理由ある以外は事務所を新京に置く關係上新京に於て開催する回数が多く、従つて康徳10年度は新京6回奉天1回の如く成つて居ります、協議事項其他役員會の内容に就きましては會議「土木滿洲」の會務報告欄に其のつと詳細掲載致して居りますので時間の都合上省略させて頂きます。

次に事業として先づ委員會の授課に付き申上ます。

現在設置中の委員會は編輯委員會、滿洲の特殊事情に依る工事資料編輯委員會滿洲土木事業發展委員會の三委員であります、編輯委員會は機關誌土木滿洲の編輯發行の爲設置してあるのであります私が編輯部長として責任を感じて居ります事は土木滿洲が月刊なるにも拘らず決定通りの發行が出来兼ねる状態と云ふ事であり、理由は近年印刷界一般の狀勢として資材不足、文選、印刷工等職工の移動其他の關係で非常に能率が低下し一方仕事量は益々膨張の狀況等が印刷所の出來難い大なる原因でありますが學會としても編輯事務專任者を採用するとか其他考慮する點も有りますので原狀打開方

針を建て定期刊行を期したい考であります、以上の次第で10年度は6回の発行に止まりました編輯上特に申上る點としては第9號5、6月を故直木博士の追悼特號とした點又會務全般に協力願ふ、目的から多數の地方委員の委嘱を見ましたので原稿募集等を依頼會誌編輯上にも協力願ひつゝあることであります。

次に滿洲の特殊事情による工事資料編纂委員会は6月迄に大體豫定した資料が集りましたので一應目的を達した形となりまして6月18日開催しました理事並に常議員會に報告出版具體方針が決定して印刷技術の關係で奉天に於て印刷に附すこととし編輯校正一切に關しては滿鐵業務の友編輯機關へ特に依頼しまして現在では編輯校正等略完了印刷前の検閲を政府弘報處に依頼中と云ふ段階となつて居りますから土木滿洲第3號3、4月號には内容目次程度を發表預約に懸じたい豫定でありますが四六倍版500頁と云ふ相當の大冊のもので頒布価格は10圓位の豫定であります、印刷部數は一應3000部と致しましたから會員皆様の御助力を御願ひして置きます。

次に滿洲土木工事便覽編纂委員会は種々の事情にて10年度中には具體的の活動開始迄に至りませんでした。本年は活動を開始する考へてあります。

次は第9の實施事業であります。土木講習會から申上ります、本講習會は本會の滿洲年中行事中大なるものでありまして毎年盛會に趣く状況であります、10年度は開催期間を1日短縮3日間として1月15日より新京記念公會堂に於て開催4日目を附帯見學會と致しました。聴講者數約700名に及び全滿各地よりは勿論關東州、北支、蒙疆等よりも参加聴講あり講師は例年の如く内務省より2名、朝鮮總督府より1名、北支建設廳署より1名、北滿道廳より1名、等外地より5名國內7名の講師を招聘し講演願ひ嚴守土木技術の進歩勉強に寄與致しました。

第2回學術講演會は3月27日第3回通常總會の附帯行事として開催し新京工大の山田氏、南滿工專の原田氏、水力電氣の山本氏、滿鐵の松木氏大東港建設局の關氏等6名の方々が研究發表講演をされました、此の講演内容は土木滿洲本年1、2月號を學術講演特號として全部掲載致してありますので近日御覽願へることになつて

居ります。

第2回通俗學術講演と映畫の會に就いては10年度は哈爾濱市に於て開催致しました本講演には本會會長も出席して挨拶され、防水隔設事業局の佐藤清見氏が松花江に就いて講演、水力電氣建設局の津田實次氏が滿洲に於ける水力電氣事業と云ふ題で講演されました。

映畫は滿鐵の製作になる汽關車パンヤの製造と試験等の上映したのであります。参加者600名以上で盛會にて所期の目的を達しました。次の講演會としては12月2日交通部に於て京都市大教授石原博士の來京を機會に水理工學の諸問題に關する講演を願ひました。

次に見學會としては1月29日第二松花江豐滿水力發電建設工事現場の見學會を開催しました土木講習會の第4日目を見學會とし聴講者有志を以て開催したのであります。参加者120名餘りでしたが借上乗合自動車の關係で人員を制限するの止むなき爲参加出来なかつた希望者も多數ありました。次第です、其他としては先、出版方面で土木滿洲6回の發行で18000部配布し滿洲土木工事資料が只今印刷中となつて居りまして最前委員會の状況報告の際申上た通りであります。

次は直接の計畫實施事業ではありませんが本技術接續、滿洲新聞社發行にかゝる圖書、故直木博士執筆になる「技術生活」を會員に紹介購讀の豫約募集を致し約1千部豫約済みの成績と成つて居ります。出版がおくれた爲配本迄に至つて居りません。

次も同じく故直木博士關係事業ですが記念事業會の事務に協力事業基金募集に關する文書發送部付金の受入整理其他を8月以降行つて居ります。

終りに直木博士に關する事項で御披露申上たい事は既に會務報告等を御覽になり御承知と思ひます。本會の役員會席上直木實業制度の議が起りまして種々協議しました結果之を會長一任とし本會會長前常議員高橋誠一氏等のお骨折で直木實基金1萬圓が御遺族より御寄附ありましてこの基金より生ずる利子程度を以て滿洲の土木事業に貢獻したる者に直木實を授與する事に一應決定して居ります。然し未だ具體的の規則等と決定して居りません、御報告致して置きます以上が土木學會即ち科技聯土、

木分科会としての康徳10年度中に於ける重要な事項に就き説明御報告申上しましたが本會と表裏一貫関係にありまして事務局を土木學會内に置き又事務一切も土木學會職員をして之に當らせて居ります。科技聯建設研究部會關係に就いて報告致します。

第1の役員會即ち委員並に幹事會であります之は8、8、9、12月の4回開催致しまして豫算決算に關する事項、部會規則の制定事業に關する件等協議しました。

次は凍害研究専門委員會の協議に就いて申上します。

之は9年度に第1回凍害研究發表會を開催以來凍害事業となりまして6月25日の第1回委員並に幹事會に於きまして凍害専門研究委員會を設立することとなり直ちに委員を委嘱、8月20日に第1回委員會を開催し委員會の運営方針、研究發表記録の整理發表に關する件凍害學術講演會の開催、凍害対策小冊子編纂の件等協議しました。第2回は後に申上します。凍害に關する學術講演會を奉天に開催の際凍害研究資料に關し協議並に學術講演會の講演内容を取纏め印刷出版する事と致しました。

次の實施事業を申上しますと通俗學術講演と映画の會を10月1日安東市に於て開催致しました此の講演は故直木博士の記念事業會が大東港の瀋池子に句碑を建立し10月4日除幕式を舉行しますに當りたまたま土木學會でも早くより地方講演會として安東市に於て開催の計畫もありましたが科技聯の創立委員長として御盡された博士の追悼講演會と云ふ意味をも含めゆかり深い安東市に於て科技聯建設研究部會の事業として開催致したのであります。尙講演會には直木博士を偲びてと題し本會會長が講演され滿洲に於ける港灣の特殊性に就いて請教人連理頭局の内田靜夫氏がされ建築部門より生活洋風化と住宅の演題にて建築局の藤生滿氏がそれぞれ講演されました映画は水壘ダム建設記録映画其他を上映しました。

次の凍害に關する學術講演會は前に申しました通り凍害研究専門委員會の協議決定に基き奉天市に於て開催致しましたが本講演會は豫期以上の盛會にて凍害問題に關し如何に多くの人々が感心を抱いて居るかが伺はれました講演は地盤の凍害に就いて大陸科學院の中武氏、コンク

リートの凍害發露に就いて滿鐵々道技術研究所の布施氏滿洲の建築東害に就いて關東軍の小菅氏瀋陽等に於ける軌條の毀損と之が對策の研究を滿鐵々道技術研究所の高木氏が講演されたのであります此の内容は建設研究部會本年度の事業として出版する予定であります。

次に工事用機器及工具新案並に新工法新材料の懸賞募集を實施し土木滿洲、滿洲建築雜誌、土建公會報等を以て宣傳致したのですが運輸ながら成績は思はしくありませんでして締切期日を充分延期し今日に及んで居る次第ですから皆事は勿論心當りの方で研究されて居る方がありましたなら至急進幕する、採お願ひして置きます。

以上で康徳10年度中の土木學會として直接行つた事業及密接不可分なる科技聯建設研究部會として行つた事業其他併せ御説明申上しまして事業報告と致します。

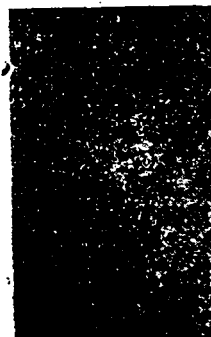
尚終りに昨年12月末現在の會員狀態を御参考に申上して見たいと思ひます次の通りであります。

名譽會員2名、正會員752名、准會員748名、學生會員162名、副會員1、207名、特別會員74名、合計2、945名となつて居りまして毎年増加する狀況にあります。

以上報告を終ります

△會計決算報告

※主事より康徳10年度會計決算報告書内容に就き詳細説明す



※主事報告

を免除することを得。

△役員選舉の結果報告

照井理事より選舉結果に就き下記の通り報告す

△特定期間中入會金免除に關する件

※主事より提案理由説明下記の通り決議せり

本會は康徳11年1月1日より康徳11年12月末日迄に入會を承認せられたる正會員、准會員、學生會員、副會員に對し滿洲土木學會規則第15條の規定に拘らず特別に入會金の納付

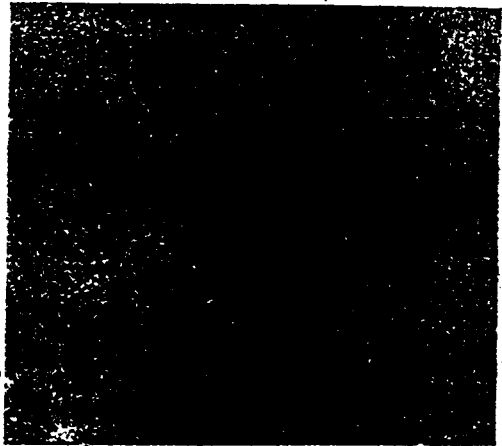
康徳10年度歳入出決算書 (康徳10年12月31日現在)

收 入 之 部			支 出 之 部		
科 目	予 算 額	收 入 金 額	科 目	豫 算 額	支 出 金 額
會 費	44,760.00	41,805.22	機 關 誌 費	18,000.00	11,102.00
寄 附 金	—	10,000.00	學 會 納 付 金	11,994.00	5,873.75
補 助 金	5,000.00	5,200.00	事 業 費	7,575.00	7,276.25
事 業 收 入	6,075.00	6,692.00	會 議 費	3,000.00	1,407.99
過 年 度 收 入	4,515.00	3,795.55	人 件 費	15,816.00	13,947.17
廣 告 料	870.00	870.00	事 務 所 設 置 費	2,000.00	—
雜 收 入	500.00	291.36	事 務 費	5,880.00	4,030.92
假 受 金	—	320.55	過 年 度 支 出	6,000.00	6,512.90
繰 越 金	12,315.00	13,282.48	豫 備 費	900.00	870.00
			積 立 金 (11年度へ)	2,900.00	13,000.00
			繰 越 金	—	18,242.18
合 計	74,065.00	82,263.16	合 計	74,065.00	82,263.16
收 入 合 計	22,263.16	前 年 度 積 立 金 累 計	7,300.00	繰 越 金	18,242.18
支 出 合 計	64,020.98	本 年 度 積 立 金	13,000.00	積 立 金	20,300.00
差 引 繰 越 金	18,242.18	合 計	20,300.00	合 計	38,542.18

本日の通常總會を以て任期満了及移動等による會長 1 名副會長 1 名常議員 7 名に對する康徳11年度役員選舉を定款第21條及規程第19條により實施致しまして第3回常議員會に於て開票しました結果正會員 750名に對し投票人員數は176名内無効票の狀態でありました當選者よ次の通りであります。

- 理事會長 當選 109票 鈴木 長明君
- 理事副會長 當選 155票 宇 木 甫君
- 常 議 員 當選 170票 伊也知彌彦君
- 〃 〃 109票 石井 鉄三君
- 〃 〃 169票 吉村富之助君
- 〃 〃 169票 青木 信夫君
- 〃 〃 168票 高野 宗久君
- 〃 〃 166票 山田 武治君
- 〃 〃 165票 豐島 棟建君
- 〃 次 點 2票 米田 正文君
- 〃 〃 2票 深井 浩三君
- 〃 〃 2票 瀧戸 政章君

△優秀論文賞金授與



相沢代表へ賞金授與

下記諸君に對し賞金贈呈せり、康徳9年度中土木灌漑に掲載せる當選者及題名

1等 賞金 100圓也

滿洲國河川に對する平身流速公式

正會員 永井莊七郎君

以上

2等 2名 賞金各50圓也

1席

工業用水の水質及廢水に就いて

正會員 相原 龜君

2席

氷に関する文獻

正會員 久保 義光君

○第10年度土木滿洲に掲載せる當選者及題名

1等 當選該當なし

2等 2名 賞金各50圓也

1席 地盤凍結と對策の研究

正會員 中武 綠君

2席 航空港の建設

正會員 廣谷 仁宏君

○記念特別講演會

總會終了後引續き下記により開催せり

1. 會長講演

滿洲國の建設の概観

水力電氣建設局長

會長 本間榮雄君

2. 戰時下に於ける科學技術研究の動向

大陸科學院院長

志方 益三氏

3. 鐵道保線と實費計算

滿洲鐵道實業部長

正會員 若林 正君

○第2回理事常議員會報告

日 時 康徳11年4月21日16時

場 所 新京ヤマトホテル 2階懇談室

出席者 鈴木會長、本間副會長、高野(滿鐵)長村、伊地知、青木、石井、山田、高野(新滿洲)常議員、佐藤書記長、渡田事務外 2名

協 議 事 項

理事互選の件

常議員中より理事 4名を左の通り互選せり

理 事 (經濟部長) 高野 與作君

理 事 (經理部長) 藤原 健二君

〃 (編輯部長) 山田 武治君

〃 (調査部長) 吉村富之助君

2. 副會長補充に關する件

鈴木會長より宇木副會長今般人連在任(滿鐵+道技術研究所長)になりたる件報告あり後任副會長補充に關し臨時補缺選舉の實施又は別途補充方法如何等種々意見の交換をしたる後補缺選舉を行ふことに決定せり

3. 事業に關する件

1. 講演會開催の件

5月以後9月末頃迄に大連及牡丹江南市に於て通俗學術講演と映畫の會を開催することとし講師は滿鐵政府等より各2名宛人選證書及開催期日其他具體案は後日決定することとせり

2. 委員會に關する件

現在設置中の滿洲土木工學協會編纂委員會は戰時下諸般の事情に鑑み該委員會の運営並に目的達成が困難なりと認め一應委員會を解散するに決定す尙今後に於ける新事業委員會の設置に付ては現下の情勢を考慮一層研究の上設置することとせり

4. 建設研究部會役員其他に關する件

本會理事常議員移動に伴ふ科技聯建設研究部會土木關係委員の更新料に關しては從來の方針に依ることとす但し鈴木會長は現在科技聯交通運輸部會長なるに部會長は今回に限り變更せざることをし鈴木會長より本間部會長の諒解を得たり、其他土木工學より科技聯本部より

りの康徳11年度交付金決定の件並に實行豫算、委員變更等に関し委員会を近日開催の旨報告せり

5. 日本土木學會納付金に関する件

本年度第1回委員会に於て決定せる納付金年度内完納の件に関し演主事より、納付金内容の説明あり納付金額中に包含してある住所不明入替等に係る取立見込なきことの明白なる會費金額に付ては日本土木學會に對し康徳11年度第1期分より考議方交渉し然る後納入することとせり

6. 特別會員に関する件

會社合併其他による特別會員の移動状況を演主事より報告し其の處理方針及特別會員の募集事務等に就き協讀す尙毎年度受つゝある滿鐵補助金に付ては例年に準

じ申請することとし鈴木會長より予め滿鐵當局の諒解を得ることとす

7. 會員移動承認の件

准會員松瀨吉男君外 2名、學生會員飛松久人君外 16名副會員早乙女友治君等の入會其他移動會員を承認せり

8. 其 他

會誌土木滿洲の發行人及編輯者の變更を左の通り承認す

發行人 編輯部長 山田武治君

編輯者 書記長 佐藤清見君

以上

會 告

1. 土木滿洲に就いて

機關紙土木滿洲は用紙の配給其他印刷事情等により本年度の發行回数は遺憾ながら8回のみ發行に止まりましたが、明年12年度は頁数は相當減じませうが、事情の許す限り回数を多く發行頒布したく手配中であります。何卒御諒承下さい。

2. 滿洲土木事資料に就いて

去る11月初旬頒布を開始しました上記土木事資料は發表と同時に會員各位より申込投到し悉ち印刷全部数が賣切となりました。従つて品切れ御注文なされた方々には尙に殘念ながら御返金お願ひ申上るの止むなき事情でありませうから御承知下さい。